

第5回所内若手研究発表会開催される

学会等での研究発表の経験が未だ少ない若手の研究者に発表の機会を提供し、プレゼンテーションテクニックを磨くことを目的として始められた「所内若手研究発表会」が、今回で第5回目を迎え、去る1月31日に開催されました。

当日は、青木所長の挨拶に引き続き、11の研究室を代表する若手研究者たちが、日頃の研究成果をいかにわかりやすく説明するかを競いました。

今回は1階に整備された寒地土木技術センター講堂での開催となりました。各発表者の発表時間は15分で、カラーOHPの使用や、パソコンからのプロジェクター投影など、目を引く力作が数多く見られた他、堂々としたベテラン顔負けの発表も多く、十分な練習のあとがうかがわれました。また、発表後の質疑応答では、聴講者から熱のこもった質問が次々と浴びせられました。

所長、研究調整官、5部長及び総務部3課長による厳正な審査の結果、構造研究室の小林研究員が最優秀賞に見事輝きました。また、優秀賞は交通研究室の及川研究員が、特別賞は港湾研究室内の鈴木研究員と河川研究室内の佐々木研究員の両名が受賞しました。

なお、発表者と発表題目は以下のとおりです。

(発表順)

- 1) 河川形態と魚類の生息環境
環境研究室 齊藤 大作
- 2) アンカーの凍上力に関する実験
土質基礎研究室 金田 尚
- 3) イントラネットによる道路管理台帳及び現地画像の共有システムについて
防災雪氷研究室 相澤 浩尚

- 4) 冬期間の温度環境が農業用ロックフルダムに及ぼす影響について
— フィルダムの冬期利用に関する新しい課題 —
農業土木研究室 松岡宗太郎
- 5) 高基混成堤のマウンド被覆ブロックの耐波安定性
港湾研究室 鈴木 孝信
- 6) 高流動コンクリートの流動メカニズムに関する研究
材料研究室 塚本 順也
- 7) 雪氷路面における凍結防止剤の散布効果に関する研究
交通研究室 及川 秀一
- 8) 超音波による斜面監視
地質研究室 丹羽 敏和
- 9) AGS事業の展開への一提案
河川研究室 佐々木靖博
- 10) 豊浜トンネルの復旧工事に関する技術的考察
構造研究室 小林 将
- 11) SHRPによるアスファルト混合物の設計法について
維持管理研究室 下道 純

実行委員：金高州吾、早川哲也、伊東公人、大島省吾、谷本俊充、坂野俊一、吉田 行、美馬大樹、蛭子恭好、大矢朋子、大野 隆、橋本祥司、金子 学

(文責：金子学)

